

部局名	生涯学習部	所属名	公民館	所属長名	伊藤 英久	電 話	485-4811
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3890		事務事業名称	公民館運営事業					短縮コード	経常	3890	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		社会教育法，公民館の設置及び運営に関する基準，八千代市立公民館の設置及び管理に関する条例，八千代市立公民館管理規則						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
○事業概要 ①講座（学級）の開催 ②サークル活動の援助 ③市民の学習活動の支援（学習スペースの提供，学習情報の提供） ○事業を開始したきっかけ 市の人口増加に伴い増大する市民の学習ニーズに対応するため社会教育の専門施設が必要となったことから，昭和52年に大和田公民館が設置された。続いて1年ごとに阿蘇・高津・勝田台・八千代台・村上・睦の順で設置が進み，平成元年に八千代台東南，平成16年に緑が丘公民館が設置され，現在の市内の公民館数は9館となった。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
高齢者の増加に伴い，公民館等社会教育施設や生涯学習施設において，施設利用者・ボランティア活動者が増加している。このような状況を踏まえ，公民館主催講座の変革や施設の有料化或いは一般利用者とサークル利用者の施設利用方法等，今後の公民館運営方針について検討すべき時期にある。公共施設予約案内システムの導入。					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	01	生涯学習						
						02	社会教育						
					小項目（施策）	02	生涯学習機会の拡充						
						01	社会教育活動の推進						
					細 項 目	03	人的な資源の活用						
01	学習活動の充実												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○学習活動する市民 ○社会教育団体							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： ○各種講座（学級）の実施 ○サークル活動への支援（部屋の割振り，公民館まつりなどの作品展示会，情報提供等） ○市民の学習活動への相談や支援 ○施設予約案内システム導入に向けての環境整備							
	※平成23年度に計画していること： ○各種講座（学級）の実施 ○サークル活動への支援（部屋の割振り，公民館まつりなどの作品展示会，情報提供等） ○市民の学習活動への相談や支援（学習スペースの提供，学習情報の提供） ○施設予約案内システムの導入							
意図 （何を狙っているのか）	○学習活動に参加できない市民を含め，より多くの市民が施設を利用し，自己に合った学習活動ができるよう生涯学習機会の充実を図る。 ○学習した市民が，学習成果を地域に還元できるよう人的資源の活用を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市民人数	人	192,570	196,000	193,274	196,400	
	指標 2	各公民館で活動するサークル	サークル	391	388	388	388	
	指標 3	各公民館で活動するサークル会員数	人	6,476	6,311	6,449	6,594	
活動指標	指標 1	各種講座の開催回数	回	585	546	505	524	
	指標 2	各種講座の参加者数	人	12,209	13,941	10,381	14,372	
	指標 3							
成果指標	指標 1	各種講座の参加者数／市民人数	%	6.34	7.1	5.37	7.32	
	指標 2	サークル会員数／市民人数	%	3.36	3.22	3.34	3.36	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3890	事務事業名称	公民館運営事業				所属名	公民館
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			○主催講座の適切な運営や施設利用方法等，公民館運営方針について検討を行う。 ○市民への学習支援体制の強化を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			○生涯学習の推進を図るため，市民への学習支援を目的とした情報提供の充実を図る。 ○主催講座を実施するにあたり，ボランティア講師登録制度の活用等によりコスト削減を図る。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☒	☐	☐			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
○親子・子供を対象とした講座数の拡大，特に東葉高速鉄道沿線で講座数の拡大が望まれている。 ○高齢者学級の講座数の拡大が望まれている。 ○公民館図書室（阿蘇・睦）の充実。									

所属長コメント	公民館が社会教育施設として果たすべき各種事業の実施や情報の提供，学習支援などについて，総合生涯学習プラザや図書館等の他の社会教育施設との連携，さらに関係他部局とも連携し，事業の一層の推進を図る必要がある。 主催事業については，予算が減額するなか，ボランティア講師の活用，各種講師派遣制度の活用，サークルの協力などで数や質を落とさぬよう引き続き研究を行いながら，より質の高い事業の実施に努めたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			主催講座や講演会等について，課題解決に努め推進すること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									